「ともにいきる会」事業計画書

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　２０１５．４．１

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | ともにいきる会 |
| 事業期間 | 平成27年4月1日～平成28年3月31日 |
| 事業目的  及び  効果 | 避難者の生甲斐を見い出す居場所作り、  地域住民との交流の場を作る。  よって、避難者の心の自立を目ざす。 |
| 事業内容 | 1. お茶飲み会（故郷自慢、孫自慢と情報交換） 2. 食事会（食事をしながら相談事や悩み事） 3. 松戸近郊や都内名所を散策   　（今住んでいる所を知ろう、楽しもう。都会に慣れよう）   1. 見守り訪問   　（出不精になりがち。会員が弁当持ちで訪問する。  　　４月は埼玉県幸手に、会員８名で訪問した）   1. 仮設住民の手作り品の代行販売   ―仮設の皆さんの生甲斐作りに貢献―  　（現在浪江町仮設の皆さんの、手作り品を取り寄せて  　　販売しています）   1. 郷土芸能の復活を支援する   ―災害は郷土芸能の衰退を加速する―  　（例えば、浪江町の郷土芸能（田植え踊り）を避難している人に、踊っている姿を見て頂いて勇気と元気を出してもらいたい。実現したい。）   1. その他 2. その他：講演会など |